

6月24日(日)

10:00~12:00

- 詩人 谷川俊太郎
- 名作ってこんなに面白い
「人間失格」「檸檬」「こころ」

7月21日(土)

13:30~15:00

- 亜寒帯・北海道の森
- 森に生きる -森の名手・名人-
- 未来に引き継ぐ立山の貴重な自然

カレッジ



わくわくシアター

会場：県民カレッジ富山地区センター

8月19日(日)

10:00~12:10

- 眞田十勇士スペシャル「上田城攻防」
- 司馬遼太郎と城を歩く
「上田城」「高取城」「洲本城」「丸亀城」

9月8日(土)

13:30~15:15

- みすゞ
監督：五十嵐匠 出演：田中美里、中村嘉律雄、
永島暎子、加瀬亮、寺島進、イッセー尾形 ほか

入場無料・予約不要

創造のよろこび



お問い合わせ
富山県民生涯学習カレッジ富山地区センター
〒930-0009 富山市神通町 2-12-20
TEL 076-441-0301 FAX 076-441-0328



日時	上映作品
6月 24日 (日) 10:00 ～	<p> ■詩人 谷川俊太郎 (59分) 60年以上にわたって日本語に向き合い、詩を作り続けてきた80歳の詩人、谷川俊太郎。この人が行くところには、多くの子どもや若者、大人が集まってくる。デビューから60年の創作活動を振り返り、今に生きる「詩人 谷川俊太郎」に密着した作品。 </p> <p> ■名作ってこんなに面白い「人間失格」「檸檬」「こころ」(53分) 【人間失格(太宰治)】(19分) 人を信じることを拒否した青年・葉蔵が破滅へと歩いていく様を自伝的に書いた作品。 【檸檬(梶井基次)】(11分) 肺を病み、借金を抱えた主人公の生への執着・生命の象徴を檸檬に託して描いた傑作。 【こころ(夏目漱石)】(23分) 「私」が先生と呼ぶ人物は、謎めいた影を背負っていた。漱石後期三部作の最後に位置する傑作。 </p>
7月 21日 (土) 13:30 ～	<p> ■日本の森シリーズ「北の大地に息づく命 亜寒帯・北海道の森」(35分) 四季ごとに豊かな素顔を見せる森で、密接に関わり合いながら生きる多様な動植物たちの姿を紹介し、自然の不思議とその魅力に迫る。 </p> <p> ■森に生きる ー森の名手・名人ー (32分) 日本人と森との深い関わりの歴史と、その中で培われてきた独自の林業技術を見つめるとともに、現代にその技術を受け継ぐ、森の名手・名人の姿を通じて日本の木の文化について考える。 </p> <p> ■未来に引き継ぐ立山の貴重な自然 (16分) 中部山岳国立公園内の立山には、年間100万人以上の観光客が訪れる。この作品は、立山の自然環境保全に取り組むナチュラリストの活動や、ライチョウなどの貴重な動植物を保護する取り組みなどを紹介。 </p>
8月 19日 (日) 10:00 ～	<p> ■戦国英雄伝説 新釈 真田十勇士スペシャル「上田城攻防」(57分) 1600年(慶長5年)の関ヶ原の合戦時、徳川軍の主力である秀忠が率いる軍勢3万8千の兵を、西軍側についた真田昌幸、信繁(幸村)親子が上田城で足止めした史実をもとに物語が展開されていく。 </p> <p> ■司馬遼太郎と城を歩く (60分) 各15分 城が好きだった司馬遼太郎の作品には、さまざまな城が登場する。歴史に名を残す、名城の栄華と数奇な運命、そして城主たちの野望と挫折を、司馬作品のエッセンスとともに訪ね歩く。 【上田城『関ヶ原』(長野/上田市)】【高取城『庄兵衛稲荷』『おお、大砲』(奈良/高取町)】 【洲本城『街道をゆく 明石海峡と淡路みち』(兵庫/洲本市)】【丸亀城『竜馬が行く』(香川/丸亀市)】 </p>
9月 8日 (土) 13:30 ～	<p> ■みすゞ (105分) 監督：五十嵐匠 出演：田中美里、中村嘉葎雄、永島暎子、加瀬亮、寺島進、伊ッセー尾形 ほか 若き詩人中の巨星と西條八十に絶賛を受けながらも26歳で夭折した童謡詩人「金子みすゞ」。没後その作品は散逸し、幻の天才作家として語り継がれていた。優れた作品を残しながらも若くして自ら死を選んだ理由は…温かく優しい詩作の裏に秘められた真実とは… </p>